



CSS テクニク

Blog デザインをスマートにかっとなそう!

第10回 画像をスマートに使うデザインしよう

CSSのプロパティをひとつおぼえても、それをどう使ってクリエイティブなレイアウトを作るのが、デザインの難しいところです。たとえば画像を加えることによって表現の幅が広がりますが、画像の使い方と言っても、単にbackground プロパティに画像を貼り付ける以外にもさまざまな手法があります。背景として使う場合でも、ちょっと工夫するだけで、おもしろい見た目や意外な効果を生み出せます。また、CSSを使いこなすだけでなく、スタイルを適用するXHTMLもきちんと記述すれば、表現の幅が広がることもあります。今回はそれらの要素を考慮した応用テクニックをいくつか紹介します。

by スタイルシート・スタイルブック

URL <http://www.stylesheet-stylebook.com/>

主宰者の執筆したCSSの書籍『スタイルシート・スタイルブック』翔泳社刊の発売と同時にオープンした、CSSをみんなで楽しく学べるコミュニティサイト。CSSのテクニックだけでなく、CSSにまつわる最新情報も随時更新しています。また、情報交換広場にもたくさんさんのCSS関連のサイトのリンク集が用意されているので、ぜひそちらもチェックしてみてください。



今月のイケてるCSSデザインサイト

カッコいいデザインをたくさん見てセンスや技を学ぶのが、デザインカアップの第一歩!

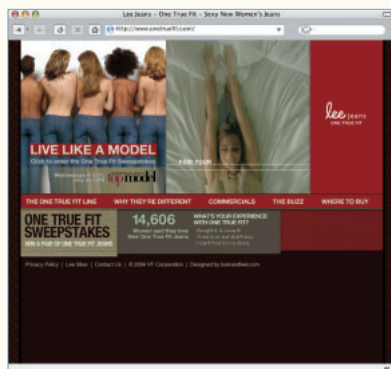
1

CSSでオシャレに便利サイト

Lee Jeans

URL <http://www.onetruefit.com/>

ジーンズメーカーのLee。大手企業のサイトも本格的にCSSデザインにしている好例だと思います。Flashを使ったビジュアルに訴えるプロモーションを前面に押し出しながらも、全体のレイアウトやナビゲーションはしっかり構造化されています。製品カタログのページもきれいにまとまっています。CSSサイトと言ったらシンプルなのが多い中、Leeらしさがレイアウトにも出ているところに好感をもてます。



一見して完全にCSSでデザインされたサイトには見えませんが、ページデータはXHTMLで構造化されています。

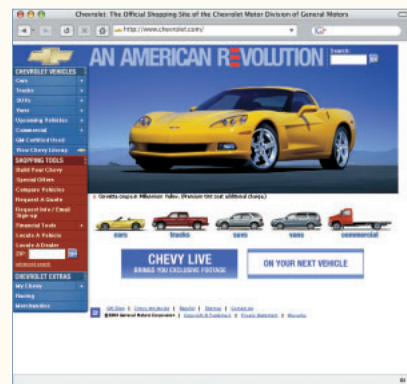
2

車メーカーも負けていません

Chevrolet

URL <http://www.chevrolet.com/>

最近では車メーカーでもCSSを使っているサイトが出てきましたが、このページは徹底的に構造化されています。左のナビゲーションはJavaScriptを使ったダイナミックメニューになっていますが、HTMLは構造化された定義リストになっています。他のページもさまざまな工夫がなされており、間違いなく非常に参考になるサイトです。



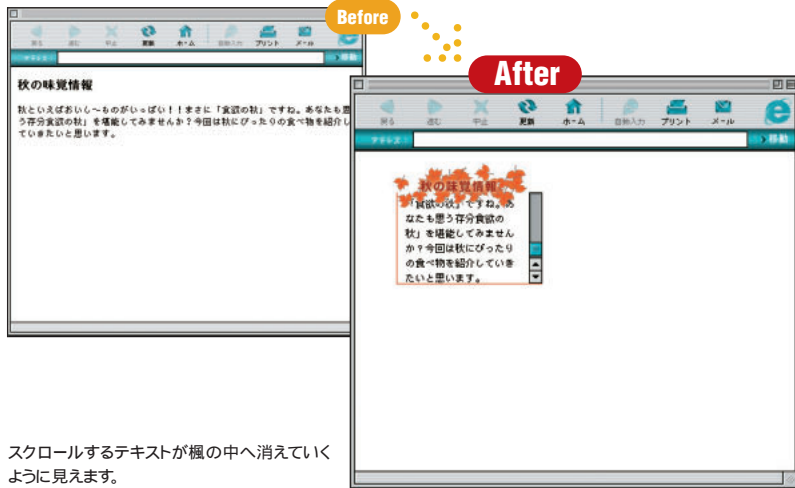
クリックすると拡張される動的なメニューですが、スタイルシートをオフにすると普通のリストとして表示されます。



レイヤーの重なりとスクロールを組み合わせる

1 overflowとz-indexの組み合わせ

by 真鍋智彦



先月解説した overflow を使用する際に、さらに z-index を組み合わせると、今までテーブルレイアウトのみでは不可能だったレイアウトも簡単に実現できます。この例では、z-index を使用して画像レイヤーを部分的に重ねています。誌面ではわかりにくいのですが、overflow でスクロールさせているテキスト部分が、スクロールされると画像レイヤーの中へ消えていくデザインになっているのがポイントです。具体的には、見出しの <h3> タグに指定した楓の画像の下に、<div> ブロックのテキストが流れ込むようになっています。

HTML

```
<h3>秋の味覚情報</h3>
<div>
  <p>秋といえばおいし～ものがいっぱい!!.....</p>
</div>
```

CSS

```
h3 {
  position: absolute;
  top: 15px;
  left: 46px;
  background: url(heading.gif)
    no-repeat;
  margin: 0px;
  padding: 0px;
  width: 162px;
  height: 55px;
}
```

```
overflow: hidden;
text-indent: -100em;
z-index: 1;
}

div {
  position: absolute;
  top: 50px;
  left: 50px;
  border-left: solid 1px #CC0000;
  border-bottom: solid 1px #CC0000;
  margin: 0px;
  padding: 15px 5px 15px 10px;
  width: 160px;
  height: 80px;
  overflow: auto;
  z-index: 0;
}
```

CSS テクニクのキモ

<h3> position: absolute にしておいて position、top、left でウィンドウ内の左上からの位置を指定しています。<div> タグのほうにも同様に位置の指定をしていますが、ここで先ほどの <h3> タグのボックス範囲と少し重なるように配置するようしておきます。楓とテキストが重なるレイアウトはこうして実現しています。

次に、ボックスの重なり順序を指定するために z-index プロパティを指定します。ただし、ボックスに position が指定されていない

と z-index の設定が有効にならないので注意が必要です。z-index の値は整数で指定します。0 が基準となっていて、値が大きいものほど上に重なるようになります。今回の場合は <h3> を上に重ねたいので、<h3> に「z-index: 1」、<div> タグに「z-index: 0」としました。

見出し画像の下にテキストが消えていくように見るには、まず <h3> の background に透過処理をした楓の画像を指定します。次に、<h3> 内のテキストを表示させないように、「text-indent: -100em」でテキストをボックスか

らはみ出させておいて、はみ出た部分を表示させないように「overflow: hidden」を指定します。

<div> のほうは、width と height でボックス範囲を指定して、「overflow: auto;」を指定することでみ出た部分をスクロールして見られるようにしています。これで、インラインフレームのような状態ができあがります。後は、border や backgroundなどを指定してボックスを装飾するなど、いろんな表現方法を試してみるといいでしょう。



フォームを正しく美しくデザインする

2

<fieldset> や <legend> などのフォーム用タグの使用

by 長谷川恭久



フォーム要素もCSSできれいにデザインしてありますが、余分なクラスやIDの指定はしていません。

フォームにはフォームの要素がどのような情報を表しているのかを説明するためのHTMLタグがいくつか存在します。それらのタグを正しく記述すれば、アクセシビリティが向上するだけでなく、<div>のような余計なタグを増やさずに細かくスタイルを継承させられるというメリットがあります。これに加えて画像を使えば表現がさらに広がりますが、今回はフォームに使う基本的なタグを使ってCSSの属性だけで見た目をカスタマイズしてみましょう。

HTML

```
<form method="post" action="test.cgi" id="contact-form">
  <fieldset>
    <legend>個人情報</legend>
    <label for="pname">名前</label>
    <input type="text" id="pname" name="pname" />
    <label for="email">メール</label>
    <input type="text" id="email" name="email" />
    <input type="submit" id="submit" value="送信" />
  </fieldset>
</form>
```

CSS

```
form#contact-form{
  background: #C5BEC3;
  border: 1px solid #776B65;
  padding: 0.5em 1em 1em 1em;
  width: 17em;
}
```

```
form#contact-form fieldset{
  background: #D0CBD1;
}
form#contact-form legend{
  color: #534B48;
}
form#contact-form label{
  color: #534B48;
  display: block;
  margin: 1em 0 0 0;
}
form#contact-form input#pname,
form#contact-form input#email{
  border: 1px solid #776B65;
  width: 13em;
}
form#contact-form input#submit{
  margin: 1em 0 0 0;
  width: 13em;
}
```

CSS テクニクのキモ

HTMLタグの<fieldset>は、フォーム内の入力フィールドやボタンなどの要素をグループ分けするためのものです。同じグループに属する要素を<fieldset>の中にまとめて、その<fieldset>の中に<legend>要素を置いて、こういったグループなのかを明記します。この2つのタグを使えばCSSを使わない状態でもグループになっている要素の周りに枠線が引かれて、<legend>に指定したキャプションのテキストが<fieldset>で引かれた枠線の左上に重なるような形になって表示されます。フォー

ムを作るときには、<hr>などを使うよりも、このように<fieldset>を使うほうがよりよく構造化できます。

さらに、フォームもCSSでデザインできますが、こちらはシンプルに背景色と文字色の指定しかしていません。もう少し凝ったデザインは次のページで紹介するテクニックを参照してください。<fieldset>の外にもう1つ枠線を付けるには<form>にスタイルを指定します。また、フォームフィールドの説明を記述する<label>を使って文字の大きさや配置を細

かく指定することも可能です。

CSSでレイアウトを作るには<div>を使わないと難しい場合が多いのですが、フォームのレイアウトに関しては、今回のようにHTMLをきちんと記述すれば、<div>を一切使わなくても自由にデザインを組めます。入力フィールドは標準ではへこんだ状態ですが、この見た目を変えたいときはborderプロパティを使うといいでしょう。



画像を使ってフォームの要素をデザインする

3

backgroundでの画像指定とborderやwidthの設定

by 長谷川恭久



アイコンの付いた角が丸い入力フィールドとグラデーションのかかったボタンのフォームはシンプルですが特徴的になります。

フォームと言えば、文字を入力する四角い入力フィールドがあって、その横に何を入力するのかの説明が書かれているようなものが一般的です。スタイルシートで枠線の色を変えたり背景色を変えたりできますが、それでも今までのフォームの見た目と大きく変わるわけではありません。そこでボタンなどのフォーム要素に注目します。ブラウザやOSに依存した四角いボタンや入力フィールドではなく、画像を使ったオリジナルなフォーム要素にしましょう。

HTML

```
<form method="post" action="test.cgi">
  <input type="text" id="search" name="search"
    value="" /><br />
  <input type="submit" id="submit"
    value="検索" />
</form>
```

CSS

```
input#search{
  background: transparent url(search.gif)
    no-repeat 0 0;
  border: none;
  font-size: 12px;
  height: 25px;
  padding: 5px 15px 0 25px;
```

```
width: 240px;
width: 200px;
}

input#submit{
  background: transparent url(submit.gif)
    repeat-x;
  border: 3px double #999;
  border-top-color: #ccc;
  border-left-color: #ccc;
  color: #333;
  font-size: 12px;
}

input#submit:active{
  background: transparent url(submit-active.gif)
    repeat-x;
  border: 3px double #ccc;
  border-top-color: #999;
  border-left-color: #999;
  color: #000;
}
```

CSS テクニクのキモ

入力フィールドにオリジナルの画像を使うには、画像を入力フィールドの背景として貼り付けます。横幅と高さはスタイルシートでも定義してあるので画像の大きさもそれに合わせるといいでしょう。入力フィールドの見た目があまりにも変わっているとそれがフォームだと気づかない人も意外と多くなるので注意しておきましょう。今回の例のようにアイコンを追加しておく、テキストで説明しなくても入力フィールドの意味がわかりやすくなります。

入力フィールドには標準で枠線が付いてい

るので、画像を使うならば枠線が邪魔になります。「border: none」を指定して枠線を消しておくといいでしょう。

ボタンにもオリジナルの画像を使っていますが、枠線を付ける前提の画像にしたため、枠線は残してあります。また「:active」疑似クラスを使うことで、ボタンをクリックすると背景色や枠線の見え方が変わるインタラクティブなボタンを実現しています。「:active」疑似クラスはリンクの<a>要素に使われることが多いので、多くのブラウザでサポートされてい

ます。今回のように<a>以外の要素にも疑似クラスを使えますが、IEでは適用されないので注意です。また、SafariやCaminoのようなCocoaベースのMac用ブラウザはボタンやフィールドの見た目を変えられないので、独自のものを使う場合にはこちらも注意が必要になります。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp